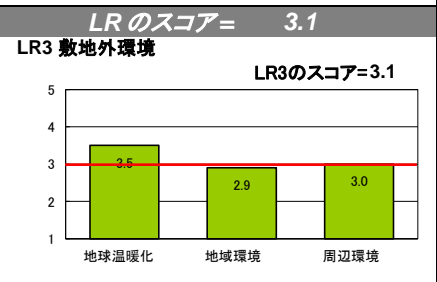
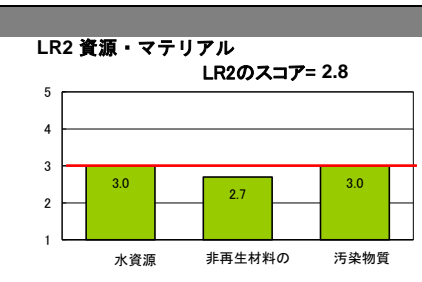
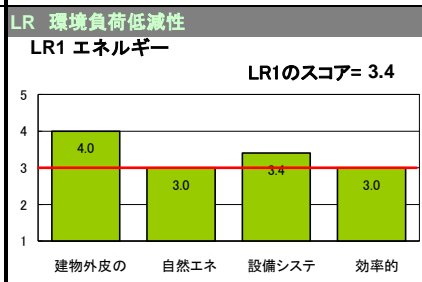
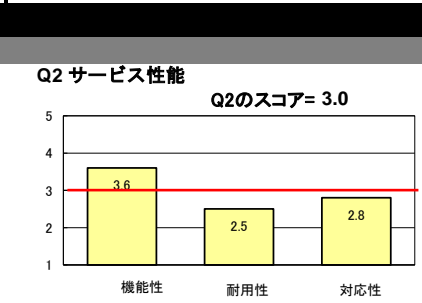
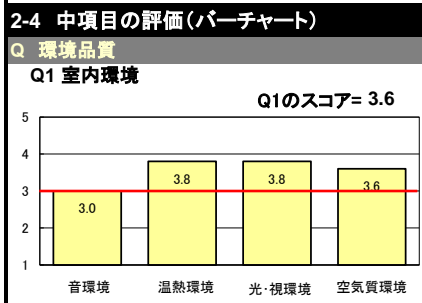
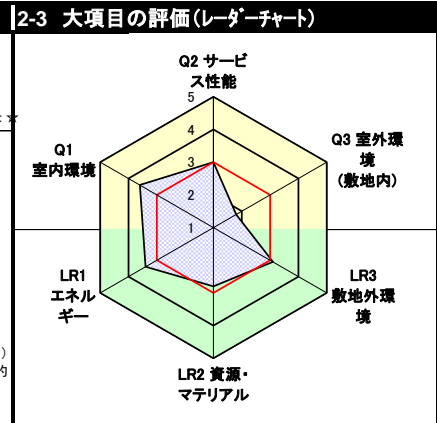
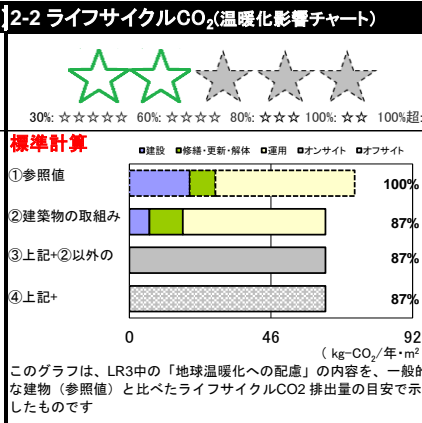
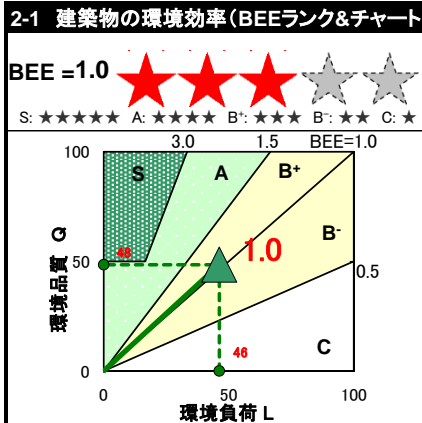


1-1 建物概要	
建物名称	(仮称) 藤沢市円行計画 新築工事
建設地	神奈川県藤沢市円行字上河内1893番1他
用途地域	第二種住居地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2022年9月 予定
敷地面積	6,493 m ²
建築面積	1,788 m ²
延床面積	14,278 m ²

階数	地上11F/地下1F
構造	RC造
平均居住人員	630 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年9月15日
作成者	株式会社DAN総合設計
確認日	2020年9月15日
確認者	株式会社DAN総合設計



3 設計上の配慮事項

総合
道路境界線沿いに緑地を設け、前面道路との調和とみどり豊かな景観形成を図った。
外壁はアースカラーを基本とし、周辺環境との調和に努めた。

Q1 室内環境
専有部において、断熱等性能等級4を取得し、高い遮音性能、昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。

LR1 エネルギー
断熱等性能等級4、建物全体でのBEI=0.96とし、省エネルギー性能の向上に努めている。

Q2 サービス性能
住宅性能評価における劣化対策等級3とし、機械配管支持方法を耐震クラスAとするなど、建物のサービス性能に配慮した設計としている。

LR2 資源・マテリアル
LGS下地を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。

Q3 室外環境 (敷地内)
標準的な配慮を行っている。

LR3 敷地外環境
LCCO₂排出率87%とし、敷地外環境に配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される